

平成28年度決算に対する各会派の意見

真政会

少子高齢化や人口減少社会にあって、本市が直面する課題は少なくない。多様な市民ニーズに的確に応え、最大の効果を発揮していくためにも、各種施策の徹底検証を行い、「対話」と「行動」を基本姿勢に、市民満足度の高い行政サービスの展開を期待する。

黒川 輝男 鈴木 隆
園部 増治 赤坂 育男

古河市公明党

平成28年度一般会計の実質収支は約12億円の黒字である。また、実質公債費比率8.2%、将来負担比率は84.4%であり、財政の健全化は順調といえる。今後も市民の多様なニーズに応え、さらなる市民サービスの充実したまちづくりに向けた賢明な市政運営を望む。

渡辺 松男 高橋 秀彰
佐藤 稔 霧見久美子

古河維新の会

合併後12年目が過ぎ、3市町の行政サービスの統一化をはじめ一体感の醸成に重点を置き市内格差のない施策事業の推進を図られたい。歳入では不納欠損や収入未済額が多い。厳しい経済状況であり税負担の公平の観点から積極的な収納対策の強化を願う。

増田 悟 倉持 健一
山腰 進 稲葉 貴大

市政同志会

将来にわたり行政サービスを提供できる財政基盤を確立するため、事業の執行にあたっては、限られた財源を効率的かつ効果的な活用を望む。また、2018年度から都道府県化となる国民健康保険事業については、収支両面にわたり効果的な取り組みを図られたい。

渡邊 澄夫 小森谷英雄
佐藤 泉

政研・市民ベースの会

平成28年度決算は予算計画を基に適正執行されたと考える。今後、平成30年度予算において、行政サービス・災害に強いまち・人材育成・教育・介護サービス・ファシリティマネジメント等、質の向上を最大限に考慮し、常に市民の要望に寄り添った編成を望む。

並木 寛 生沼 繁
大島 信夫 秋山 政明
阿久津佳子 長浜 音一

会派に属さない議員

学校施設（空調、トイレ）の改善など評価するが、県事業の肩代わり、開発事業、駐車場等の借地料など無駄があり、賛成できない。

秋庭 繁

主要な施策の成果に関する説明書兼事業評価書作成の際は、根拠となる数値や計算式を分かりやすく示すように心がけてほしい。

落合 康之

介護保険制度の導入から2025年問題は避けずには通れない。介護難民として介護が受けられない事態にどう向き合うか大きな課題。

四本 博文

